

Y02a はやぶさ2プロジェクトにおける教育・広報・アウトリーチ活動

吉川真, Elizabeth Tasker, 細田聡史, 松岡萌, 武井悠人, 三桝裕也, 伊佐百加, 中澤暁, 津田雄一 (JAXA)

小惑星探査機「はやぶさ2」は、小惑星リュウグウから物質を持ち帰る小惑星サンプルリターンミッションであるが、6年間の太陽系空間での飛行を無事終えて、2020年12月に地球にカプセルを帰還させた。工学・科学の成果を多く挙げることができたが、プロジェクトでは教育・広報・アウトリーチにも力を入れて多くのことを行った。ここでは、プロジェクトとして行ってきたことをまとめたうえで、今後の方針について議論する。

はやぶさ2プロジェクトで行った広報・アウトリーチ活動としては、イベント的に行ったものと、継続的に行ったものがある。イベントとしては、探査機に一般の人の名前やメッセージを載せるキャンペーンや、小惑星の名称の募集、リュウグウ想像コンテストのようなものと、地球に接近したときに探査機やリュウグウを観測するキャンペーンなどを行った。継続的な活動としては、Webやツイッターでの情報発信の他、プロジェクトメンバーによる講演会を頻繁に行って、情報発信に務めた。また、重要な探査機運用の時には、リアルタイムでの情報発信も積極的に行った。マスコミ向けにもかなりの回数の記者説明会を行っている。

さらに、実際のデータについても、多くの人に使ってもらえるよう、軌道情報や形状モデルの公開も行ってきた。サイエンスデータについては、現在、公開する作業が進められているので、今後はサイエンスのデータについても多くの人に利用してもらうような工夫を行っていききたい。はやぶさ2は、ミッションが延長されて、別の小惑星に向かっている。今後も、科学や技術に広く親しんでもらえるような活動を行っていききたい。